

平成27年度「東京都 児童・生徒の学力向上を図るための調査(第2学年対象)」結果一覧 練馬区立大泉学園中学校

◆学力調査の結果（正答率） 7/2（木）

教科	A 教科の内容										B 読み解く力に関する内容									
	関心・意欲・態度		思考・判断・表現 話す・聞く		技能 書く		知識・理解 言語		読む		合計		取り出す力		読み取る力		解決する力		合計	
	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都
国語	60.7%	58.5%	58.3%	56.2%	36.8%	34.6%	75.8%	66.5%	71.7%	66.3%	64.0%	58.4%	36.8%	31.3%	40.9%	34.9%	30.8%	25.4%	36.3%	30.7%
社会	74.2%	74.0%	59.1%	56.9%	56.4%	49.9%	54.3%	52.0%			57.3%	54.1%	61.6%	52.7%	56.3%	46.8%	54.1%	41.8%	57.3%	47.1%
数学	83.2%	89.0%	32.6%	30.5%	62.0%	61.1%	60.5%	61.3%			58.4%	58.3%	69.0%	69.3%	45.9%	41.0%	47.2%	46.8%	54.0%	52.3%
理科	92.4%	89.5%	46.8%	46.3%	58.6%	59.0%	51.5%	51.2%			55.7%	55.2%	50.0%	46.1%	25.7%	28.1%	34.2%	37.5%	35.1%	35.9%
英語	86.7%	75.8%	38.9%	26.0%	82.9%	73.4%	71.2%	61.6%			74.5%	64.5%	74.1%	66.6%	33.5%	34.4%	26.3%	24.1%	44.6%	41.7%

◆教科等の合計正答率（A, B）と分析・改善策

	学年	東京都	分析（身につけている力・課題等）	改善策・取り組み
国語	59.9%	54.3%	すべての項目に関して、まんべんなく力がついているが、「書く」力、やや弱点が見られる。	新聞記事など、まとまった短い文章を読み、手本となる表現を身につけさせるとともに、根拠をもった文章を書かせる機会を増やしていく。
社会	57.3%	52.7%	地図や絵の資料から読み取るものを問う問題は、地理的分野・歴史的分野ともに正答率は高かった。一方、知識・理解に関する問題は、正答率が低かった。	日頃から、基本的な事項について、地図や絵の資料を活用して繰り返し理解させる。また、小テストや問題演習を行わせ、基礎的・基本的な知識を定着させる。
数学	57.5%	57.0%	関数の関係に代表されるように、条件を読み取って式で表現する力が不足している。また、適切な用語や表現を使って理由を説明する力が不足している。	問題の中の条件を視覚に訴えて確認したり、問題文を一人一人がしっかり読む時間、考え方を発表する時間を確保したりして、理解を深めさせる。
理科	50.2%	50.0%	生徒は授業、実験、観察等を通して関心意欲をもって取り組んでいる。情報を整理させ、それぞれの情報を既習内容と関連させ、いくつかの特徴を比較したり関連づけたりして、読み取る力、解決する力、科学的思考力が不足している。	見えないものを見えるようにする指導の工夫、学習したことと自然や生活の中に存在するものを関連づける場面を設定し、理科を学ぶ有用性を実感させ、科学的に考える習慣を身につけさせる。
英語	68.1%	59.6%	必要な情報を正確に取り出す力についてはついてきているが、情報を比較・関連づけて読み取る力、様々な条件を結び付けて推論する力が不足している。	ある程度の量を英語で表現する機会を増やしていく。引き続き小テストや問題演習を行わせ、基礎的・基本的な知識の定着に努める。